



小林一喜 議員

明治小学校の校庭および周辺整備は

答 校庭の砂塵対策として表土改良を実施する

問 明治小校庭にグリーンサンンド導入は。

答 町長 将来的には駒寄小と同様、グリーンサンンド方式を実施したい。

問 駒寄小校庭にグリーンサンンドを導入した経緯は。

答 教育委員会事務局長 新校舎完成後、17

年度事業で実施した。事業費は2499万円、メンテナンスは2年に一度90万円かかる。

問 明治小通学路の安全対策は。

答 町民生活課長 県警が実施している「ゾーン30」という速度規制を区域内に設定し、標識

の設置、またグリーンベルトなどの検討をする。

問 町道明治小裏線の改良は。

答 町長 拡幅の見通しがつき、26年度予算に計上した。

問 隣地に不法投棄などがある忠霊塔敷地利

美化に努めたい。

用と環境問題は。財務課長 敷地はその立地から明治小の各種行事や登下校時の駐車場として利用されている。管理は財務課だが、関係課などと協議し、不法投棄の禁止看板を設置して環境の

の張替は、検討の上実施したい。

問 犯罪発生防止に防犯カメラの設置は。

答 町民生活課長 設置場所の選定、必要性、設置効果、管理体制など調査検討する。

問 小倉の県道26号と交差する町道の安全対策は。また滞留帯、右折帯の設置は。

答 町長 町道に右折車線など設置は難しいが、さまざまな観点から物事を考え、交通事故のない

まちにしたい。



砂塵舞う明治小グラウンド

コミュニティセンターの維持管理は

まちが適切に管理運用している

問 コミュニティセンターの役割と利用状況は。

答 町長

地域住民の集会、学習、レクリエーションおよび福祉の増進と、町民が趣味を通じてコミュニケーションを図るための重要な施設と認識し

ている。財務課長 25年度の利用状況は延べ83

問 8回、使用料は無料である。センターの長寿命化

工事は。財務課長 平成13年

に外壁補修工事を実施した。トイレの改修、畳

の改修は、検討の上実施したい。



駐輪場に設置された防犯カメラ



栗田俊彦 議員

6年生の修学旅行を大樹町にしては

答 十分検討していききたい

問 26年度、子どもも交流事業を25年度の20人から30人に増やすとのことだが、この事業は子どもにも好評である。25年度の応募

者数である40人にできないか。

答 教育委員会事務局長 今後調査検討し、可能な限り大勢の児童が参

問 加でできるように考えたい。6年生の修学旅行先を、大樹町にする考えは。

答 教育長 宿泊日数などの制限もあり、今後どういった形が取れるのか十分検討していききたい。

ている。遊休農地解消には役立つが、近隣の土地所有者および農家とのトラブルも多くなっている。何らかの対策はとっているのか。

答 産業建設課長 苦情も多く寄せられていることは承知している。相手先の農業委員会へも申し入れを行っている。

子ども目線での通学路の再点検を実施すべきではない

安全確保を重点的に考えていきたい

問 都市化により新しくできた道路も多く、車の流れも変わっている。再点検を実施すべきでは。

答 町長 春に教職員とPTAおよび子ども達と安全点検は実施している。今後も安全確保に重点的に取り組んでいきたい。

問 豚流行性下痢（PED）の対策として、

ワクチン代の補助および消石灰の無償配布を実施すべきでは。

答 産業建設課長 消石灰の配布はすでに実施している。ワクチン代の補助については、国の対応を確認しながら考えていきたい。

問 他の市町村からの入り耕作が年々増加し



大樹町での砂金掘り体験



PEDのワクチン



神宮 隆 議員

認知症高齢者の徘徊対策は

はいかい

答 サポーターの養成、地域包括ケアシステムで推進したい

問 まちは、人口増加で、他と比べ高齢化率は低い。今後の対策は。

答 町長 今後、高齢化が進み、認知症高齢者など諸問題に対応した施策が必要と思う。

答 健康福祉課長 まちの人口は10年前より15・2%増加し、高齢化率は19・9%と、高くなっている。

問 まちの高齢者の一人暮らしは。

答 健康福祉課長 高齢者の一人暮らしは364人。民生委員、ボランティアなどが見守り活動を行っている。

問 まちの認知症高齢者と徘徊の対策は。

答 健康福祉課長 要介護認知症高齢者は533人で、徘徊の心配が258人。認知症サポーターを養成し、今後始まる地域

問 包括ケアシステムで対策を推進したい。

答 町長 国、県、市町村が連携して取り組む必要がある。認知症サポーターの養成、地域包括ケアシステムで対策を推進したい。

役場、通学路などに防犯カメラの設置は

犯罪抑止効果は大きいので前向きに調査したい

問 防犯カメラは犯罪抑止効果、証拠確保事例として、多くの成果を挙げている。県内の設置状況、費用は。

答 町長 防犯カメラの犯罪抑止効果は大きいと思う。前橋市、高崎市などの繁華街に設置されているが、農村部は、学校など以外はあまり見られない。設置費用は、1基約12万円である。

問 まちの犯罪発生が増加している。役場、

答 町長 国の支援事業を望む被災農家は41世帯113棟、再建が35世帯100棟、被害額の合計は3億1952万円となつ

問 まちの交通安全会の組織は。会費は各戸300円であり、まちから補助金も出ているが、その使途は。

答 町民生活課長 役員は108人、本部役員12人、各地区に支部長1人、女性部2人を置いている。25年度の会費173万円、8千円(5795戸分)、

問 2月の大雪で、まちの農業施設の倒・損壊した被害棟数、被害額は。

答 町長 国の支援事業を望む被災農家は41世帯113棟、再建が35世帯100棟、被害額の合計は3億1952万円となつ

問 まちの犯罪発生が増加している。役場、



高齢者の総合相談窓口（社会福祉協議会内）



校内に設置されている防犯カメラ（明治小）

ミニ解説

地域包括ケアシステム
要介護状態となっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」の5つのサービスを一体的に受けられる支援体制のこと。

まち補助金12万円で、交通安全啓発活動費および啓発資料の購入費としている。